

WITH YOU

保険情報ペーパー「ウィズ・ユー」

“金融資産ゼロ”の世帯が約3割

平均保有額1,150万円
長期的な人生設計を

長年、日本人は貯蓄好きだといわれてきましたが、少し状況が変わりつつあるようです。金融広報中央委員会が毎年発表している「家計の金融行動に関する世論調査」によると、平成23年の二人以上世帯が保有する預貯金や保険、株式などの金融資産の平均は、前年より19万円減り1,150万円でした。これだけを見ると、さほど変化がないように思いますが、金融資産を保有していない世帯の割合が、前年より6.3%も増え28.6%と、昭和38年の調査開始以来、最も高い数字となりました。単身世帯では4割近くにもなっています。年収が低く、若い年代ほど金融資産ゼロの世帯の割合が高くなっています。

一方、平均保有額1,150万円について、実感からかけ離れた印象をもつ方も多はずです。これは、少数の高額資産保有世帯によって大きく引き上げられた平均値であり、約7割の世帯はこの額より少なくなっています。調査した全世帯のちょうど真ん中に位置する世帯の保有額、いわゆる中央値では420万円となります。ちなみに、金融資産を保有している世帯のみの平均は1,659万円もあり、前年より117万円増えています。家計の貯蓄においても、格差の拡大、二極化が進んでいるようです。

また、金融資産残高が1年前に比べ「減った」



と答えた世帯は40.5%、その理由として「定期的な収入が減ったので金融資産を取り崩した」がトップになっています。さらに、老後の生活について「心配である」とした世帯は8割を超え、「年金や保険が十分ではない」「十分な金融資産がない」などの理由をあげています。

「収入が減る」→「将来への備えを取り崩す」→「老後生活への不安がさらに増す」という悪循環に陥らないためにも、家計の見直しを含め、長期的な観点から人生設計を考える必要があります。

2012年6月作成



フォーユーシステム株式会社

〒989-6135 宮城県大崎市古川稲葉字浦田32-1
古川の通報は大場いい

TEL 0229-24-0855 FAX 0229-24-0855

http://www.foryousystem.co.jp